



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

リビア：最高憲法裁判所がマイーティーク首相の任命に違憲判決

6月9日、最高憲法裁判所は、5月4日に国民議会で行なわれたアフマド・マイーティーク首相選出は違法であるとの判決を出した。同首相は判決を受け入れると述べ、首相辞任を表明した。違憲判断の根拠は、後述のとおり、国民議会での首相選出が適正ではなかったことにある。マイーティークは6月24日予定の議会選挙までを任期とする暫定首相であったが、今回の首相任命過程をめぐる混乱は、リビア政治社会情勢の破綻を象徴する出来事である。

・マイーティーク首相の選出過程

5月4日、国民議会でマイーティーク候補とハーシー候補の決選投票が行われ、マイーティークは73票、ハーシーは43票を獲得したが、いずれの候補も暫定憲法「憲法宣言」が定める首相選出要件の定数＝120票以上に達していなかった。そのため、同日午後マイーティークに対する信任投票が改めて行われた。しかしマイーティークは出席議員から113票しか獲得できず、アワーミー第一副議長はマイーティークが首相に選出されなかったと結論付けて閉会を命じた。

ところが、一部議員がアワーミー第一副議長に対して、採決を欠席した議員を呼び寄せて再度信任投票を行うよう説得し、同日、2回目の信任投票が行われた。マイーティークは121票を獲得し、首相に就任した。

しかし5月26日、アワーミー第一副議長は、マイーティーク首相の選出手続きは正しくなかったとして、アブドゥッター・シンニー首相（4月に就任）に首相職を続行するよう命じたことから、リビアでは首相が2人いる状態となっていた。マイーティークの信任票が首相選出要件の定数に到達しなかったにもかかわらず、故意に2回目の信任投票を行ったことが、適正な手続きではなかったとされた。

（金谷研究員）

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799